



(電子版)

info@jikosoren.jp

2018年 第15号 2018年6月8日

発行：自交総連本部

〒110-0003 東京都台東区根岸2-18-2-201

tel. 03-3875-8071 fax. 03-3874-4997

## ライドシェア新法提案 ごり押しするな 楽天本社前(二子玉川)で抗議宣伝 常執参加

自交総連は6月7日、楽天本社がある二子玉川駅前でライドシェア反対の抗議宣伝行動を実施、東京地連の仲間を中心に全国の常任中央執行委員も参加しました。

楽天の会長兼社長の三木谷浩史氏が代表理事を務める新経済連盟は5月8日に『「ライドシェア新法」の提案』を発表、各省庁に申し入れて、新法をつくりライドシェアを道路運送法の適用除外にして合法化することを求めています。

宣伝は、川崎常執(東京)の司会ではじまり、高城委員長が、ライドシェアの危険性を説明して、世界各国で禁止が相次ぐなかで日本でライドシェアを解禁するのは時代に逆行、自社の利益のために新法をごり押しするなと訴えました。

続いて、石垣副委員長(宮城)、石野常執(埼玉)、早川副委員長(東京)、富松常執(神奈川)、庭和田副委員長(大阪)、内田常執(福岡)、菊池書記長がマイクを握り、地方の実情もふまえて、タクシーの労働条件や住民の足として責任をもって安全運行に努めていること；などを訴えました。

駅前では、東京地連の組合員らが「楽天三木谷社長は危険な白タク合法化で輸送の安全を破壊するな」の横断幕を掲げて、ティッシュ付のビラを配布、「なんの宣伝ですか」と足を止める人もいて、「楽天が危険な白タクを合法化しろと言っているのに抗議しています」との説明に、「それは危ないですね」とビラを読む人や、「がんばってね。応援します」と激励する人もいました。

(上) 宣伝カーで訴える早川副委員長と司会の川崎常執

(下) 駅前で横断幕を掲げてビラを配布する仲間

